

AI関連発明の特許適格性

Nov. 20, 2019

Korean Intellectual Property Office



Korean Intellectual
Property Office

目次

1. AI関連発明

2. 条文と基準

3. 事例

AI関連発明

発明

- 特許法
- 審査基準

コンピュータ関連発明

- 審査基準

AI関連発明

発明適格性

✓ 関連条文

- 特許法第29条第1項

「産業上の利用可能性を有する発明は～特許性がある。」

- 特許法第2条第1項

「発明とは、自然法則を利用した技術的思想の創作として高度のものをいう。」

発明適格性

✓ 発明ではないもの（審査基準）

- 自然法則そのもの
- 単なる発見であって、創作ではないもの
- 自然法則に反するもの
- 自然法則を利用していないもの
- 個人的な技能そのもの
- 単なる情報の提示
- 美的創造物
- コンピュータプログラム言語又はコンピュータプログラムそのもの
- 未完成発明

特許適格性を決定するためのアプローチ

✓ 一般的な基準

自然法則を利用した技術的思想の創作



✓ コンピュータソフトウェアの基準

ソフトウェアの情報処理は、具体的には、ハードウェアを用いて実現される。

特許適格性を決定するためのアプローチ

一般的な基準

請求項に係る発明が、(1)自然法則以外の法則、(2)任意の取り決め、(3)人間の精神活動、(4)単なる情報の提示に関係するならば、前記発明は、特許性の基準を満たさないと解される。

自然法則を利用しているかどうかは、請求項に係る発明全体に基づいて決められるべきである。

請求項の一部	請求項の全体	特許 適格性	例
自然法則を利用していない	自然法則を利用	O	数学の公式
自然法則を利用	自然法則を利用していない	X	ビジネスの方法

特許適格性を決定するためのアプローチ

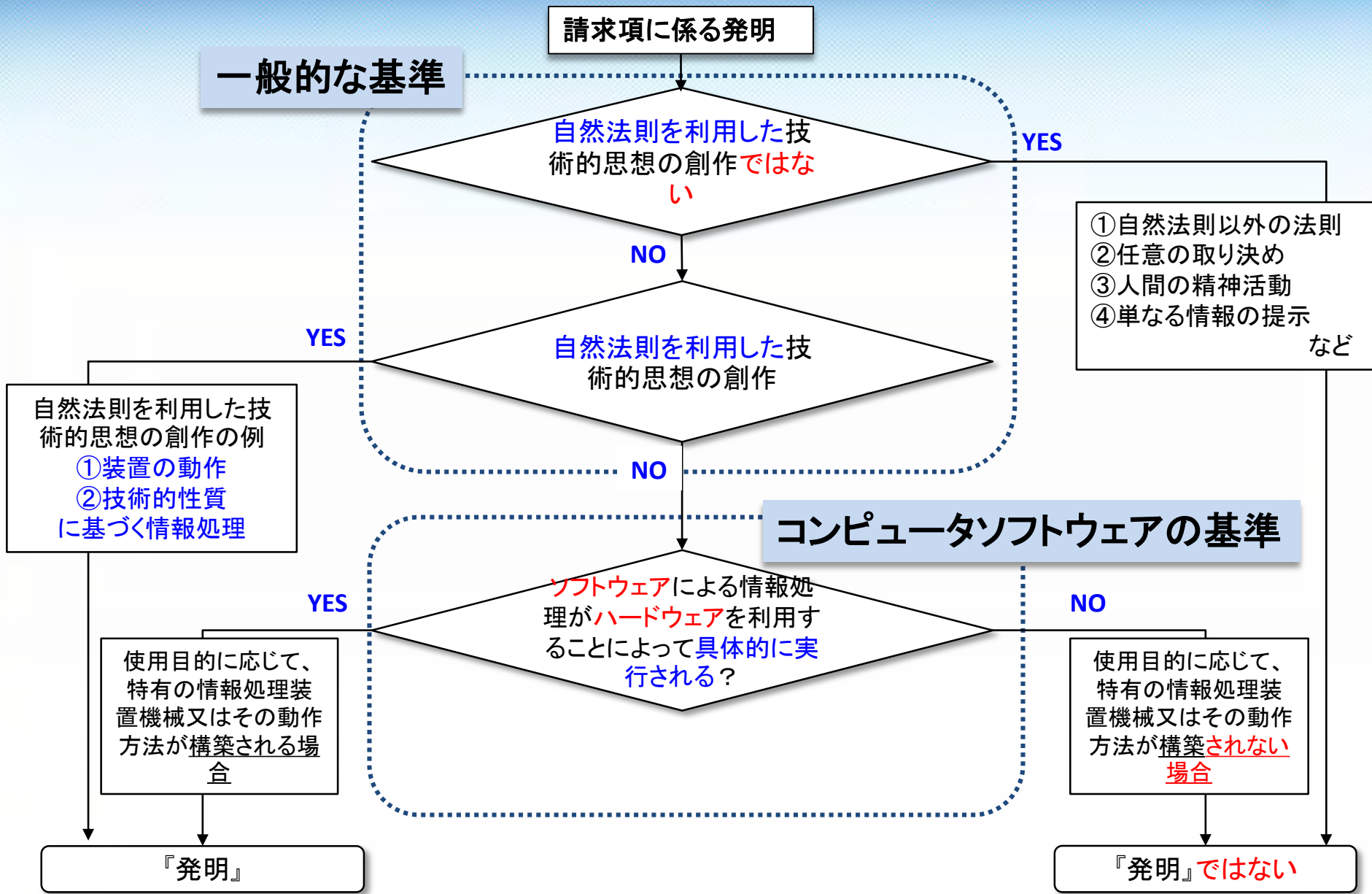
コンピュータソフトウェアの基準

ソフトウェアによる、(1)ハードウェアを用いる情報処理が(2)具体的に実行されるならば、請求項に係る発明は、自然法則を利用する技術思想の創作として特許性の基準を満たすと考えられる。



実現することで、使用目的に応じた特有の情報処理装置機械又はその動作方法が構築されている場合、当該発明は自然法則を利用した技術的思想の創作である。

適格性を決めるためのステップ



AI関連発明とは何？

AI関連発明

AIモデル

教師データセット
モデリング
改善
...

AI応用

ヘルスケア
ロボット
ナビゲーション
自動運転

+ BM
+ ビッグデータ解析

事例1/3

宿泊施設の評判を分析するための学習済みモデル

[請求項1]

宿泊施設の評判に関するテキストデータに基づいて、宿泊施設の評判を定量化した値を出力するよう、コンピュータを機能させるための学習済みモデルであって、
第1のニューラルネットワークと、前記第1のニューラルネットワークからの出力が入力されるように結合された第2のニューラルネットワークとから構成され、
前記第1のニューラルネットワークが～～で構成されたものであり、
前記第2のニューラルネットワークの重み付け係数が、～～で学習されたものであり、
前記第1のニューラルネットワークの入力層に入力された、宿泊施設の評判に関するテキストデータから得られる特定の単語の出現頻度に対し、前記第1及び第2のニューラルネットワークにおける前記学習済みの重み付け係数に基づく演算を行い、前記第2のニューラルネットワークの出力層から宿泊施設の評判を定量化した値を出力するよう、コンピュータを機能させるための学習済みモデル。

特許適格性に要求される基準

発明

コンピュータ関連発明

- ソフトウェアがハードウェアと強く結びついていること
- コンピュータプログラムを保存している、コンピュータ可読媒体
- コンピュータ可読媒体に保存されているコンピュータプログラム

AI関連発明

コンピュータ関連発明

分類		請求項例
方法		ステップA、B、Cから構成されるコンピュータで実行される方法
物	システム又は装置	機能A、B、Cを実行するためのコンピュータシステム
	コンピュータ可読媒体	コンピュータにステップA、B、Cを実行させるプログラムが記録されたコンピュータ可読媒体
	媒体に保存されたコンピュータプログラム	ステップA、B、Cをコンピュータ上で実行させるためにコンピュータ可読媒体に記録されたコンピュータプログラム
	データ保存媒体	構造A、B、Cから構成されているデータが記録されたコンピュータ可読媒体

事例 3/3

宿泊施設の評判を分析するための学習済みモデル

[判断結果]

➡ 請求項1に係る発明は、特許法第2条に基づき、**発明ではない**とされる。

[コンピュータ関係発明基準を満たすための修正]

- コンピュータプログラムを保存しているコンピュータ可読媒体
- コンピュータ可読媒体に保存されているコンピュータプログラム

と修正された請求項1に係る発明は、特許法第2条に基づき、**発明とされる**。

Thank you



Korean Intellectual
Property Office